



4月30日(金)開校記念日のイベントで、同窓会記念講演会が一関市文化センター大ホールで開催されました。講師は、2009年に本校電子科を卒業し、筑波大学に進学した伊藤剛浩さんで、現在、LINE株式会社 エンジニアとして勤務しています。演題は「私の経験から伝えたいこと」と題して、私の仕事経験、IT系の働き方、高校時代の経験、大学と大学院、ものづくりについて順にお話をさせていただきました。特に高校生当時、自分が就きたい仕事について「マインド・マップ」を用いて具体的に自己分析をしたお話から、ものづくりを通じた経験と実績から、大学進学を決めたことを話してくれました。その他、大学と大学院の学びの違いや国際的な交換留学生と正規入学生の違いなども説明していただきました。

また、海外での学びや日本との違いについてもお話があり大変興味を感じる内容でした。

ものづくりの考え方については、「問題があるからものをつくる。」「問題を知る。」「仕組みを考える。」「ものづくりというと手を動かして物を組み立てるとことだけが注目されることが問題だ。」「ものを作って終わりじゃない。」「ものづくりは自分ひとりじゃできない。」など、開発者としてのものづくりの考え方をお示ししていただきました。

なお、まとめとして以下の内容を話してくれました。

- ① 「これだけはだれにも負けない」を持つ。誰よりも先に深堀する。
- ② 自分の引き出しを増やす。いろいろな国に行ってみる。コネクションをつくって活用しよう。
- ③ ものづくり 組立とものづくりの違いを考える。課題を見つける。何を実現したいのか。実現する方法は？

普通の講演会では、なかなか聞くことのできない内容を生徒たちの為にお話ししていただきたいと思います。講演の内容も充実しており後輩への激励を込めた貴重な講演会でした。

m(\_ \_)m

～ いま 関工がおもしろい ～



メモを取って聴講する生徒



開発した作品を見せながら講演をすすめる伊藤 講師



質問をする生徒達

